

平成28年度 総合教育センター評議員

(敬称略)

	評議員氏名	所属 役職
1	大日方 貞一	長野県小学校校長会 会長
2	武田 育夫	長野県中学校校長会 会長
3	小口 俊幸	長野県高等学校長会 副会長
4	洞沢 佳久	長野県特別支援学校校長会 中信地区代表
5	三ツ井 千恵子	長野県国公立幼稚園長会 会長
6	坂井 良平	長野県PTA連合会 副会長
7	両角 眞幸	長野県高等学校PTA連合会 副会長
8	坂口 昌夫	長野県市町村教育委員会連絡協議会 会長
9	北澤 智彦	塩尻市中央公民館 館長
10	米窪 千加代	長野県連合婦人会 前会長
11	香山 瑞恵	信州大学工学部電子システム工学科 教授
12	矢口 修	信濃教育会教育研究所 部長
13	塚田 信之	長野県産業教育振興会 会長
14	伊藤 かおる	(株)コミュニケーションズ・アイ 代表取締役社長

平成 28 年度 長野県総合教育センター評議員会

1 期日・会場 平成 28 年 10 月 3 日(月) 第 6・7 研修室ほか

2 日 程

(1) 受 付

(2) 研修講座・生徒実習等の見学

(3) 評議員会

開 会

① 所長挨拶

② 評議員自己紹介

③ 職員自己紹介

④ 座長選出

⑤ 説明・報告

ア 平成 28 年度長野県総合教育センター事業の重点

イ 研修事業

・平成 27～28 年度 研修講座実施状況

・今年度の注目講座

・平成 28 年度追跡アンケート結果報告

・指定研修の概要

・生徒実習事業及び先端技術研修の概要

ウ 学校支援事業・・・校内研修支援及び学校訪問支援

エ 研究調査事業・・・プロジェクト研究、センター研究発表会

オ 教育情報事業

・ホームページのコンテンツ（学びの広場）

・長野県視聴覚ライブラリー

カ 教育相談事業・・・教育相談の概要

⑥ 評 議

・長野県総合教育センターの事業について

・長野県総合教育センターに期待すること

・その他

閉 会

① 所長挨拶

② 諸連絡

3 出席評議員（敬称略）

武田 育夫	長野県中学校校長会	会長
小口 俊幸	長野県高等学校校長会	副会長
坂井 良平	長野県 P T A 連合会	副会長
両角 眞幸	長野県高等学校 P T A 連合会	副会長
北澤 智彦	塩尻市中央公民館	館長
矢口 修	信濃教育会教育研究所	部長
塚田 信之	長野県産業教育振興会	会長
伊藤 かおる	(株)コミュニケーションズ・アイ	代表取締役社長

平成 28 年度長野県総合教育センター評議員会 評議要旨

(平成 28 年 10 月 3 日実施)

次のような点について、一層の工夫改善を図る必要があるとのご意見をいただきました。
今後の事業運営および研修講座づくりに反映させていただきます。

○評議員会の持ち方について

- ・長野県総合教育センターが、どのような組織であるか理解できるようなセンター事業の重点とともに、組織図と関連づけた資料があるとよい。
- ・評議員会においてもどのような議論をしてほしいのかというアウトプットがより明確になるとよい。

○研修講座の内容・あり方等について

- ・全員が同じ視線で研修できるよう ICT 機器の利用と紙媒体の役割分担を考えていく必要がある。
- ・自主的に希望する受講者が多いのはよいが、学校長の勧めによる学校のニーズや課題等に対応した受講も必要である。
- ・研修に自主的に参加しようとする先生は、複数希望される先生が多い。他にも受けてほしい先生はいるが、校務等で出られない。学校としても研修に出やすい環境を整える必要がある。
- ・教員は各学校の職場でハードワークであるが、積極的に研修を受けてスキルを上げノウハウを持ち帰っていただくとともに、それを生かせる現場の環境面も並行して考えていかなければならない。
- ・先生方が自主的に研修を受けるのはとても素晴らしいが、学校の代表として来ていただいて研修した内容を還元できるように意識を持ってもらう必要がある。
- ・時間や場所の制約を受けないと言う意味で、先生方へのコンテンツ配信や e-ラーニングも重要なのではないか。
- ・先生方の基本的なスキルとして、ICT のスキルと発達障がいに対応するスキルが必要である。高校の先生であっても LD、ADHD への対応など身につけていくべきではないか。
- ・先生方の研修の結果のフィードバックだけでなく、児童生徒からのフィードバックによる効果検証もこれから必要になってくるのではないか。
- ・センターでは、長野県の持っている課題に対して明確に対応した研修をしていただいている。講座に信州体験マークや ICT 活用マークをつけ受講者のサポートをしているのはありがたい。
- ・長野県は元来、先生方が自主的に研修することを重視してきたので、センターが希望研修を中心にしていることは大切なことではないか。いろいろなところで様々な研修が行われているが、著名な講師を呼ぶなどセンターでしかできない研修には多くの先生に参加してもらいたい。
- ・PTA 活動を含め先生方の対人関係のスキルが課題になっている。対人関係をどのように構築していくのかなどの点についても研修する必要があるのではないか。

○教育相談事業について

- ・先生も保護者も悩みごとを相談したい。様々な角度から問題に応じた対応がないと解決しないので、今後も支援を続けていただきたい。
- ・子どもが利用しやすいよう、相談窓口などの配信について検討してもよいのではないか。センターだけでなく様々な関係機関の相談窓口の情報を一元的に PR するなど連携していくことが大切。

○その他

- ・センターにはエキスパートが多い。その専門性を講座の中で生かすためにもセンター職員も外部の研修等に参加する等、力をつけていただけるよう意識を持っていただきたい。
- ・主権者教育など、時勢を取り入れた研修をしていただいている。これからも法改正などアンテナを高くして、研修に資していただければと考える。
- ・日本の経済のグローバル化の進展に対応するには、優秀な人材を輩出するしかない。これは先生方に頼るしかない。様々な課題はあろうかと思うが、先生方に頑張ってもらいたい。